

経営健全化方針に基づく取組状況（令和4年度）

○法人名：味ロジ株式会社

○経営健全化方針を策定した理由

債務超過額が806,014円発生したため、策定したものの。

○財政的リスクの状況

（単位：千円）

	平成29年度 決算	平成30年度 決算	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 決算	目標達成年度 (令和5年度)
債務超過額	806	△3,218	△3,354	△3,381	2,181	△4,000

○経営状況

- ・前年に続き新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、またギフトの急激な受注減により売上げは減少、経費削減をしたが回復の見通しが厳しく、再び債務超過となった。

○主な取組状況（令和4年3月現在）

【法人自らによる経営健全化のための具体的な対応】

- ・部門別会議による製造計画等や人員配置の見直しを行い、営業力を強化しながら経営改善を行った。
- ・地域産農産物を用いて、既存商品の改良や加工品の試作・研究を行った。
- ・物価等高騰により原価計算を行い、商品単価を改定した。
- ・アフターコロナに対応すべく、顧客の動向変化を見極め、季節商品の販売やインターネット販売を開始し情報発信と集客アップに努めた。
- ・一次加工処理受託の協議を行った。

【町による財政的なリスクへの対処のための対応】

- ・定例会の同席及び毎月の事業報告を求め、経営状況の把握に努めている。
- ・新型コロナウイルスの感染リスクを低減させるため、換気設備等感染防止対策を実施した。
- ・令和3年12月に外部有識者からなる「経営健全化委員会」を開催し、中間年までの進歩管理、評価、検証を行った中で、経営転換のための受託加工及び営業強化へのシフトを図り、目標達成に繋げていくこととされた。

○法人の財務状況
(貸借対照表から)

(単位：円)

	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算
資産総額	10,604,090	12,823,953	10,211,345
（うち現預金）	1,512,668	5,241,596	4,189,116
（うち売掛金）	252,303	609,568	282,266
（うち商品）	6,055,373	4,038,202	2,645,760
負債総額	7,249,378	9,442,121	12,392,926
（うち当該地方公共団体からの借入金）	0	0	0
純資産額	3,354,712	3,381,832	△ 2,181,581

(損益計算書から)

(単位：円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
売上高	38,721,112	28,587,717	24,082,197
営業費用	38,591,500	31,322,005	30,196,068
営業外収益	144,367	2,885,025	709,608
営業外費用	119,521	123,617	159,150
当期純利益	154,458	27,120	△ 5,563,413